

「公認会計士とプロボノ活動」



齊藤 剛
(平成6年商学部卒)

私が以前にこちらの会報で、海外赴任の経験談をご紹介して8年が経ちました。この間に、社内外における多くのプロジェクトに関わってきました。そのような中、監査法人のパートナーの立場や公認会計士の世界とは別の分野で、自分の様々な経験を活かし社会貢献出来ればということで、昨年秋から、週末や祝日などを活用して、NPO法人キーパーソン21というキャリア教育団体の社会人会員という立場でプロボノ活動に関わっております。今回は、この活動についてご紹介させていただきます。

私は、公認会計士の道を志すまでは、学校教育に関わりたいたいという夢をもっており、教育の面から社会貢献したいとの想いで、私が住む川崎市から全国展開し、主に小学生・中学生・高校生を対象にしたキャリア教育を支援する、キーパーソン21の活動に関わることにしました。このNPOは、学生達のわくわくエンジンを、つまり、自分の気持ちが向いて動き出さずにはいられない原動力のようなものを引き出し、皆がいきいきと仕事をして生きていくことが当たり前の社会の実現を目指して活動しております。

まずは、業種で経験も全く異なる社会人の皆様と一緒に、都内の公立中学生向けに、ゲーム形式で楽しみながら、わくわくエンジンを引き出し、認めて伴走していく「すきなものビンゴ&お仕事マップ」プログラムに参加しました。このプログラムを通じて、学校教員でもない、保護者でもない、我々のような第三の大人達が学校現場に入ることによって、学生達が自分や友達の良いところを発見し、自信をもっていくという変化を目の当たりに実感することが出来ました。また、私とは経験も

全く異なる方々と活動を共にする中で、中学生と接する際の目線や話し方などに関する私自身における課題も見つかると同時に、監査法人内での経験の浅いスタッフと接する際の心構えにおいても通ずるものを学ぶことが出来ました。

これに加えて、このNPOの大学生会員を応援しサポートするチームに精力的に参加しております。この大学生達は、前述の小中学生向けのプログラムなどに社会人会員と一緒にナビゲーター役として参加したり、経済的困難を抱える中学生への学習支援、さらには、進路選択を考える高校生や社会人に向けて、自分自身の物語や未来像を赤裸々に伝える活動などをしております。ここで、私を含めた第三の大人達は、一人一人の大学生と向き合い、彼らが社会との関わりを意識し、ときには社会における様々な課題を解決するための伴走役として、彼らのわくわくエンジンを活かした、社会での存在意義を見つけることをサポートしております。これにあたっては、私自身が今までに担当した様々な業界のクライアントでの経験や、関わってきた社会課題に関する知見が大いに活かされるとともに、彼らのわくわくエンジンの本質を見極め、その行方を示唆したり、思考を貸してあげることで、彼らのわくわくした想いが自らの志に昇華していくのを実感出来、大きなやりがいを痛感し、さらに、私自身が学生ならではの新しい視点やイノベーションへの情熱など、多くを学ばせていただきました。

また、最近では、このNPOと企業、大学教育関係者や大学生会員との連携による、様々な社会課題の解決に関わるための新しいアクティブラーニングプログラムの開発や、NPOの広報活動の拡充など、多種多様な社会連携による教育実践のイノベーションの取組みに関わっております。

以上、私がプロボノ活動に参加した際の気づきをご紹介させていただきました。今現在、ほとんどの企業で働き方改革を進められているかと思いますが、この本質は、イノベーションの推進にあると私は考えます。自ら関わっている本業でのイノベーションのためにも、NPOなどで多様な職業にある方々と一緒に社会課題の解決に関わり、非日常の体験をしながら、色々な自分を生きつつ、新たな「価値」を創り出していくことをお勧めします。